

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 マルチフォトメーター用試薬 PLpow60SiHR2
 品番 3-9792-27
 会社名、部署名 アズワン株式会社品質保証部
 住所 〒550-8527 大阪市西区江戸堀2-1-27
 電話番号 06-6447-8614
 FAX番号 06-6447-8664
 推奨用途及び使用上の制限 マルチフォトメーターを用いた水質検査

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分5 区分2	H303 H315
環境有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 水生環境有害性(急性) 水生環境有害性(長期間)	区分2A 区分3 区分3	H319 H402 H412

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ H303
 皮膚刺激 H315
 強い眼刺激 H319
 水生生物に有害 H402
 長期継続的影響によって水生生物に有害 H412

注意書き

安全対策

取扱い後はよく手を洗うこと。 P264
 適切な保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 P280
 環境への放出を避けること。 P273

応急措置

気分が悪いときは医師に連絡すること。 P312
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。 P302+P352, P321, P332+P313
 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P332+P313
 汚染された衣類を脱ぎ, 再使用する場合には洗濯をすること。 P362+P364
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して
 いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P305+P351+P338
 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313

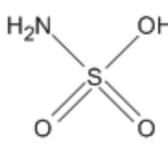
廃棄

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼し
 て廃棄すること。 P501

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	スルファミン酸
別名	アミド硫酸、(Amidosulfuric acid)、スルファミド酸、(Sulfamidic acid)、スルホアミン、(Sulfoamine)
分子式(分子量)	H3NO3S(97.09)
化学特性(示性式又は構造式)	
CAS番号:	5329-14-6
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	(1)-402
濃度又は濃度範囲	70~90%

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

汚染された衣類を脱ぎ, 再使用する場合には洗濯をすること。

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して
 いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境中に放出してはならない。
漏洩物を拭き取り、密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
保管

適切な保護具を着用し、試薬及び測定対象液が眼や皮膚に触れないよう注意する。
子どもの手の届かない、乾冷暗所に保管すること。
商品パッケージのまま保管すること。
直射日光を避け、冷暗所に保管する。
酸性雰囲気中には保管しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

未設定

	スルファミン酸
日本産衛学会	未設定(2009年度)
ACGIH	未設定(2009年度)

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な眼の保護具を着用すること。
適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 形状
色
臭い

粉末
白
刺激臭

混合物として融点、沸点、引火点、発火点、爆発限界下限、蒸気圧、密度、比重、溶解性、Pow、動粘性率等のデータなし。

10. 安定性及び反応性

安定性
危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

保管上の注意に基づく保管においては安定と考えられる。
保管上の注意に基づく保管においては安定と考えられる。
加熱
強酸化剤、強酸
燃焼により有毒ガスが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性 経口

スルファミン酸に関して、ラットのLD50値、>2000 mg/kg (OECD TG401 :GLP)、3160 mg/kg、2065 mg/kg、1450 mg/kg、1600 mg/kg (以上、IUCLID (2000))より、区分外に相当3件、区分4に相当2件により、該当数の多いJIS分類基準の区分外(国連分類基準の区分5)とした。本試薬には90%以下のスルファミン酸が含まれるため、区分5とした。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

スルファミン酸に関して、ウサギを用いた試験(OECD TG404: GLP準拠)で刺激性あり(irritating)の結果(IUCLID (2000))があり、さらに別にウサギを用いた複数の試験では刺激性なし(not irritating)～重度の刺激性(highly irritating)の結果(IUCLID (2000))が得られている。これらの結果に加え、EU分類では、Xi; R36/38に分類されていることから、区分2とした。本試薬には90%以下のスルファミン酸が含まれるため、区分2とした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

スルファミン酸に関して、ウサギを用いた試験(OECD TG405: GLP準拠)で刺激性あり(irritating)の結果(IUCLID (2000))があり、さらに別にウサギを用いた複数の試験では中等度の刺激性(moderately irritating)～重度の刺激性(highly irritating)の結果(IUCLID (2000))が得られている。これらの結果に加え、EU分類では、Xi; R36/38に分類されていることから、区分2Aとした。本試薬には90%以下のスルファミン酸が含まれるため、区分2Aとした。

12. 環境影響情報

スルファミン酸
水生環境急性有害性
水生環境慢性有害性
オゾン層への有害性

以下の個別物質データより、水生環境急性有害性区分3、水生環境慢性有害性区分3とした。

魚類(ファットヘッドミノー)における96時間LC50 = 70.3mg/L (ECETOC TR91, 2003)であることから、区分3とした。
急性毒性区分3であり、急速分解性がない(BIOWIN)ことから、区分3とした。
データなし

13. 廃棄上の注意

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制 国連番号
国連危険有害性クラス
容器等級
国内規制 海上規制情報
航空規制情報
陸上規制情報

2967
8
III
船舶安全法の規定に従う。
航空法の規定に従う。
毒劇法及び消防法の規定に従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当しない

16. その他の情報

参考文献

各データ毎に記載した。

注) この情報は、必ずしも充分ではないので、取扱いには注意をお願いします。
本データシートは情報を提供するもので記載内容を保証するものではありません。